

ロンボク島の小学校に津波防災パンフの配布ーインドネシアの小学生のための津波防災パンフレットIV-

Making of TSUNAMI pamphlet for school children in Indonesia and disaster prevention education 4 -Activity on the Lombok island-

柴山 元彦 [1]; Dicky Musulim[2]; 香川 直子 [3]; 芝川 明義 [4]; 上島 昌晃 [5]

Motohiko Shibayama[1]; Musulim Dicky[2]; Naoko Kagawa[3]; Akiyoshi Shibakawa[4]; Masaaki Ueshima[5]

[1] 自環研オ; [2] パジャジャラン大; [3] 自然環境オフィ; [4] 大阪府立花園高等学校; [5] 大教大附属平野小学校

[1] Natural Envi.Ins.; [2] Padjadjaran Univ; [3] Natural Environmental Ins.; [4] Osaka Prefectural Hanazono Senior High School; [5] Hirano Elementary Sch. attached to Osaka Kyoiku Univ.

2004年12月におきたインドネシアスマトラ島沖地震による津波で多数の犠牲者が出たことがきっかけで、2005年からインドネシアの子供向けの津波防災パンフを作成し配布活動を始めた。

その後の活動成果などは本連合の大会で発表してきた(柴山ほか2006、2007、2008)。しかし、その後昨年の配布活動において、パンフの組み立て作成作業に参加していただく団体が大幅に増えたことや、小学校で配布時に津波寸劇を行って配布するなど新しい試みを行ったので本発表を行うことにした。

2008年度の活動で新たに行ったことは、パンフレットに飛び出す部分がありその部分を貼り付ける作業を行わなければならないがそれを行ってくれる団体が、これまでの白鷺会(全日空客室乗務員OG会)、樟蔭高校、であったが、加えて新たに大阪府立花園高校、箕面東高校、東大阪市立盾津東中学校の生徒たちが参加してくれた。また昨年はインドネシアのロンボク島の海岸にある小学校6校を回って配布を行ったが、そのときに津波劇を子供らの前で行ってから配布した。この劇は子供たちにたいへん喜ばれたので津波パンフについての関心がこれまでより高まったと感じた。

さらに2009年1月4日にパプアニューギニアで起きた地震(M7.6)で津波が発生したが、この津波による死者は出なかった。この地域は昨年発表者の一人であるDicky Muslmによって小学校に配布活動を行っていた。

今後の予定として、2009年度にはさらに地震パンフの作成を行いこのパンフも同時に配布予定である。